

一般社団法人ウェルネスJAPAN認定アロマセラピスト ベーシックコース（PPAA監修）

ベーシックコースでは、アロマセラピーを基礎から学んでいきます。
アロマセラピーの歴史や目的、エッセンシャルオイルの知識や効能、使用方法やトリートメントの実技指導などを、広く深く勉強していきます。
ご自身や身近な人に実践したり、心身の健康を維持するための日常生活へのアロマの取り入れ方など、生活の中で幅広く役立つ事はもちろん、自宅で開業されたい方、サロン勤務やインストラクターなどの仕事につきたいと考えていらっしゃる方にも有利な認定資格です。



1 Module モジュール【1】

【学習内容】

- ◎ エッセンシャルオイルの家庭での使い方、トリートメントや効能、基礎的な知識
- ◎ ボディワークの基本手技、姿勢を学習
- ◎ 15種類のエッセンシャルオイルの特性を学習
- ◎ キャリアオイルの使用法とブレンド方法
- ◎ アロマセラピーの歴史、ホリスティックヒーリングについてのディスカッション
- ◎ 植物の特性について など

【所要時間】 ◎ 理論・実技 6日間(40時間)

【課題】 ◎ 課題エッセイ 5題 ◎ トリートメント実習 10例

Up grade アップグレード

有資格者はレベルチェックテストを受けることで、モジュール【2】から受講できます。

レベルチェックを受けて合格すると、モジュール【1】の受講が免除されます。
初日にモジュール【1】で学ぶ重要な箇所の履修後、モジュール【2】へ移行します。

【対象】 ◎ すでに日本の各団体でアロマセラピーの資格を取得している方

【課題】 ◎ 課題論文 10題 ◎ トリートメント実習 20例

2 Module モジュール【2】

【学習内容】

- ◎ クライアントの状況を把握するためのコンサルテーション、身体分析など
- ◎ プレッシャーポイント、タッチング、ドレナージュなどのトリートメント基本・応用手技
- ◎ 15種類のエッセンシャルオイルと数種類のキャリアオイルの特性を学習
- ◎ 芳香蒸留水(ハイドロソル)の使用法。
- ◎ 禁忌事項、エッセンシャルオイルの抽出方法、植物の属性、効能や身体に及ぼす薬理効果など
- ◎ 衛生学、安全性、プロフェッショナルとしての実践法など

【所要時間】 ◎ 理論・実技 6日間(40時間)

【課題】 ◎ 課題エッセイ 5題 ◎ トリートメント実習 20例

IFPA認定アロマセラピスト プロフェッショナルコース

ベーシックコース修了者が対象です。
このコースでは、PPAAの理論・技術はもちろん、解剖生理学や心理学、ビジネス実践マネジメントなど実践的なノウハウもトータルでじっくりと時間をかけて学びます。
修了後は、IFPA認定試験に合格すれば「IFPA認定のアロマセラピスト」の資格が得られ、独立開業、サロンやSPAへの就職、医療・福祉分野でのセラピストなど、健康増進をサポートするプロフェッショナルとして幅広い活動が可能です。



3 Module モジュール【3】

【学習内容】

- ◎ 足裏の反射駆を取り入れたトリートメントテクニック
- ◎ 植物の属性、エッセンシャルオイルの有機化学や構成成分、毒性など
- ◎ エッセンシャルオイルの純粋性、安全性の重要性についてのディスカッション
- ◎ キャリアオイルの浸透性、アレルギーについて
- ◎ 12種類のエッセンシャルオイルの特性を学習
- ◎ プロフェッショナルとしての実践ノウハウの展開

【所要時間】 ◎ 理論・実技 6日間・40時間

【課題】 ◎ 課題エッセイ 4題
◎ リフレクソロジー(反射駆)を含むトリートメント実習 25例

4 Module モジュール【4】

【学習内容】

- ◎ 座位でのトリートメントテクニック
- ◎ 代替療法としての植物のエッセンシャルオイルの使用法など
- ◎ 高齢者、妊婦、小児に与えるエッセンシャルオイルの影響など
- ◎ 12種類のエッセンシャルオイルの特性を学習
- ◎ ビジネス上のマナー、サロン設立のノウハウなどのビジネススタディ

【所要時間】 ◎ トレーニング 5日間・40時間 ◎ 復習 2日間・10時間

【課題】 ◎ 課題論文 5題 ◎ トリートメント実習 5例
◎ 修了試験準備

解剖 生理学

【学習内容】

- ◎ 国際基準に沿った、人間の基本的構造、役割、病理学、相互作用の構造システムなど
- ◎ 講義(担当講師：医師・薬剤師・鍼灸師など)
- ◎ 課題 など

※受講後、筆記試験が行われます。モジュール【4】受講前までに修了、合格が必要です。
※PPAA・IFPAが認める医療関係免許の所持者(ex.看護師・薬剤師・鍼灸師など)は、解剖生理学の受講が免除されます。